

令和5年8月31日  
登録試験機関  
公益財団法人原子力安全技術センター

## 令和5年度 第1種放射線取扱主任者試験 物理学の表記ミスについて

「放射性同位元素等の規制に関する法律」第35条の規定に基づき、令和5年8月23日及び24日に実施した第1種放射線取扱主任者試験において、試験課目「物理学」の間18のCの記述に表記ミスがありました。詳細は別紙のとおりです。このため、当該問題については受験者全員に得点を与え、採点を行うこととしています。

なお、当該試験の合格発表については、令和5年10月5日に下記の当センターホームページにて合格者の受験番号が発表されるとともに、令和5年11月上旬頃に官報で合格者の氏名が公告されます。

(公財)原子力安全技術センターホームページアドレス [<https://www.nustec.or.jp/>]

今回の事案により、受験者の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後このような事態の再発を防止するため、原因を究明するとともに、より一層チェックの強化を図る所存であります。

以上

問い合わせ先

公益財団法人原子力安全技術センター  
放射線安全センター主任者試験グループ  
高橋 澄人  
TEL 03-3814-7480

(別紙)

令和5年度 放射線取扱主任者試験

第1種 物理学

物理学のうち放射線に関する課目

**問18** 1 MeV光子の物質中での減弱に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- A 線減弱係数は物質の原子数密度に比例する。
- B 線減弱係数の逆数は平均自由行程である。
- C 質量減弱係数は線源弱係数を物質の密度で除した値である。
- D 質量減弱係数は物質の種類にあまり依存しない。

1 ABCのみ      2 ABDのみ      3 ACDのみ      4 BCDのみ      5 ABCDすべて

Cの記述について、正しくは「質量減弱係数は線減弱係数を…」と表記すべきところを、誤って「質量減弱係数は線源弱係数を…」と表記しました。(下線部)

当該問題は選択肢5 (ABCDすべて) を正答としておりましたが、この表記ミスのため正答を選べなくなりました。